

2 業務の背景・目的・課題等

(1) 業務の背景

都市計画道路腰浜町庭坂線は、福島市中心部と西部（庭坂地区）を結ぶ道路として平成13年1月に都市計画決定された路線で、当該区間は、現道である県道庭坂福島線のバイパスとして計画されており、一部は工事が完了し供用開始されている。中心となる福島駅から放射状に延びる幹線道路であることから、日々の通勤通学に加え、商品運搬などの物流車両等により交通量が約17,000台/日と多く渋滞が発生している。

(2) 業務の目的

当該区間は、住宅街やJR奥羽本線の跨線部を通り国道13号に接続する区間であり、事業期間中の整備効果発現のための暫定供用及び国道13号の延伸や沿道の土地利用を踏まえたネットワーク確保のための国道13号との接続方法について検討する必要があるため、道路予備修正設計及び交差点予備設計を行うものである。

(3) 業務の課題

- ① JR奥羽本線（複線）との交差があるため、鉄道に対する安全を考慮した跨線部の構造を検討する必要がある。
- ② 区画整理事業で整備された住宅街を通る計画となっており、沿線の住民の利便性向上及び円滑な交通を確保する必要があるため、段階的に整備する中で、暫定的に現道と接続させることについて、接続の際の構造（形状）を検討する必要がある。
- ③ 現計画では、国道13号に対して一部の車線のみが接続していることから、道路ネットワークを考慮し、全ての車線で国道13号と接続する構造を検討する必要がある。

3 評価テーマ

- (1) 鉄道に隣接する住宅街を通り直轄国道に接続する路線の道路予備設計を行うにあたっての留意点

- (2) 立体での交差点予備設計を行うにあたっての留意点